国土交通省自動車交通局プレス・リリース

平成１３年１２月７日

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
電話　03-5253-8111（内線 42352,42354）
自動車事故対策センター企画開発室
電話　03-5276-4455

チャイルドシートアセスメントを初めて公表します！

１．国土交通省では、自動車事故対策センターの協力の下、チャイルドシート３２製品の安全性能比較試験をチャイルドシートアセスメントとして初めて実施しましたので、その結果を公表します。チャイルドシートアセスメントの目的は、信頼できる安全性能評価を公表して、より安全な製品を選択しやすい環境を整えるとともに、製作者によるより安全な製品の開発を促すことによって、安全なチャイルドシートの普及を促進しようとするものです。

２．チャイルドシートアセスメントでは、安全基準を超える高い安全性能を評価する前面衝突試験と誤使用の防止対策を評価する使用性評価試験を実施しています。前面衝突試験の評価は、「優」、「良」、「普通」、「推奨せず」の４段階で表示しています。なお、「推奨せず」とされた製品も安全基準はすべて満たしています。また、使用性評価試験の評価は、チャイルドシートの使用実態を反映した５つの評価項目について５名の専門家が判定を行い、レーダーチャートで表示しています。

乳児用の２０製品の前面衝突試験の評価結果は、「優」が５製品、「良」が１製品、「普通」が８製品、「推奨せず」が６製品でした。「優」となった５製品のうち４製品が新基準適合品でした。

幼児用の２１製品の前面衝突試験の評価結果は、「優」に該当するものはなく、「良」が８製品、「普通」が５製品、「推奨せず」が８製品でした。新基準適合品及び欧州基準適合品は、いずれも「良」または「普通」の評価となりました。

使用性評価試験の評価について、評価項目ごとに全製品の平均を求めたところ、取扱説明書等は３．１点、本体表示は３．４点、本体機構は２．８点、取付性は３．２点、装着性は３．０点となりました。

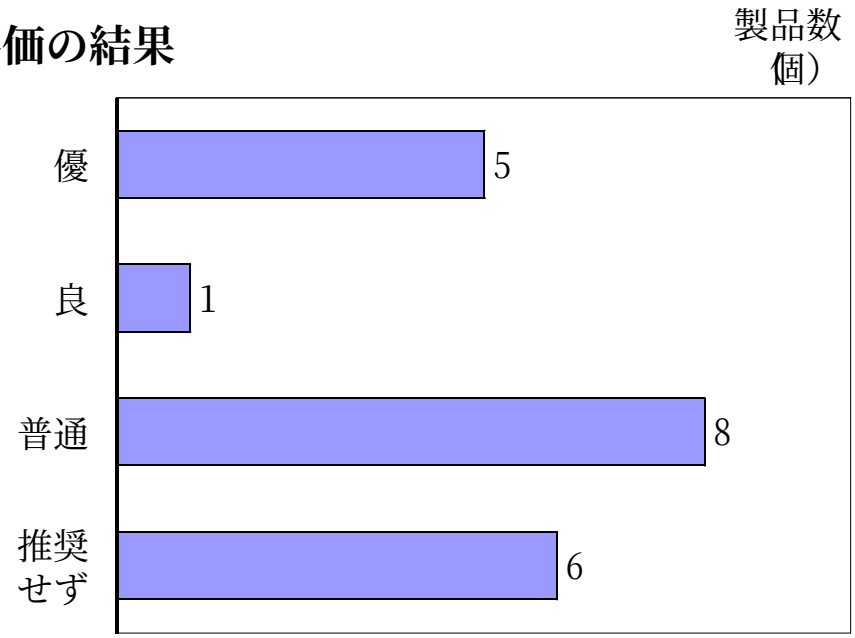
３．公表方法としては、ホームページ（国土交通省 http://www.mlit.go.jp/ 、自動車事故対策センター http://www.osa.go.jp/ ）に全文を掲載するとともに、地方運輸局、陸運支局等と自動車事故対策センターの支所等においてパンフレットを配布します。

（注）「新基準」は平成１２年施行の基準。平成１４年末までに製作されたものは適用猶予。

乳児用チャイルドシートの前面衝突試験結果

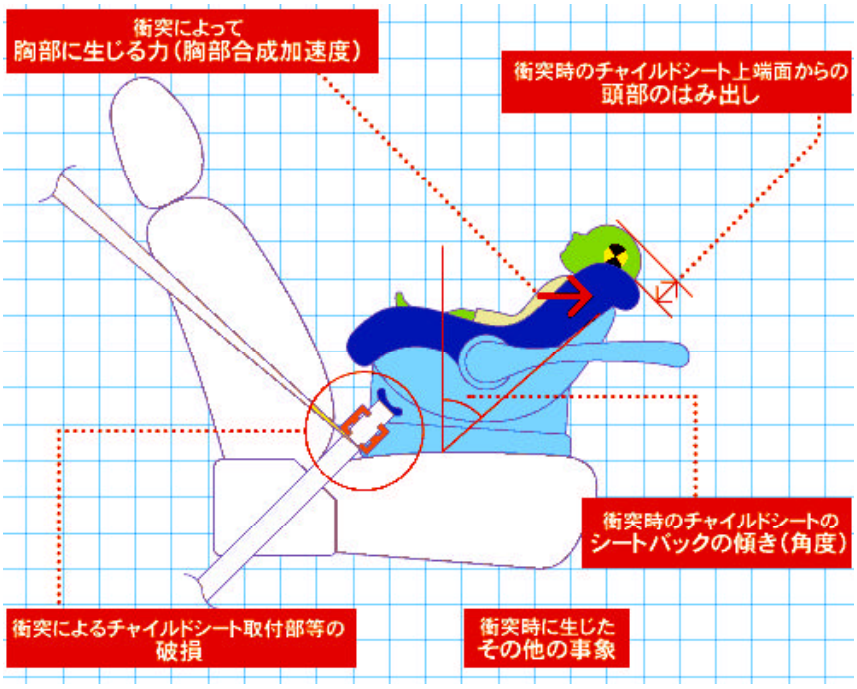
使用対象：新生児から１歳ぐらいまで、体重10kg未満
試験対象製品：２０製品

評価の結果



（注）「推奨せず」とは、より高い安全性能を評価する本試験の結果からは推奨に至らないことを表しており、使用不可という意味ではありません。試験対象とした製品は、すべて安全基準に適合しており一定レベルの安全性は確保されています。

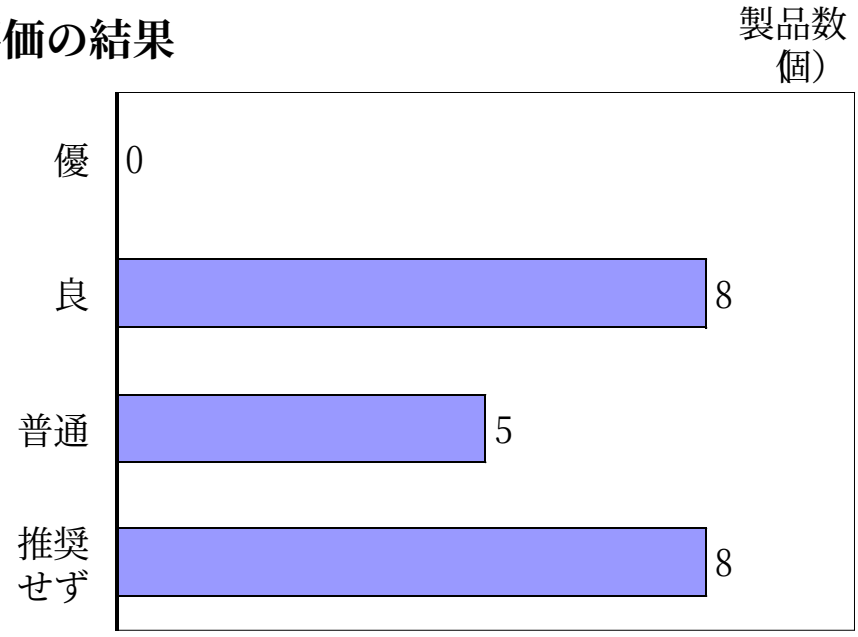
評価項目



幼児用チャイルドシートの前面衝突試験結果

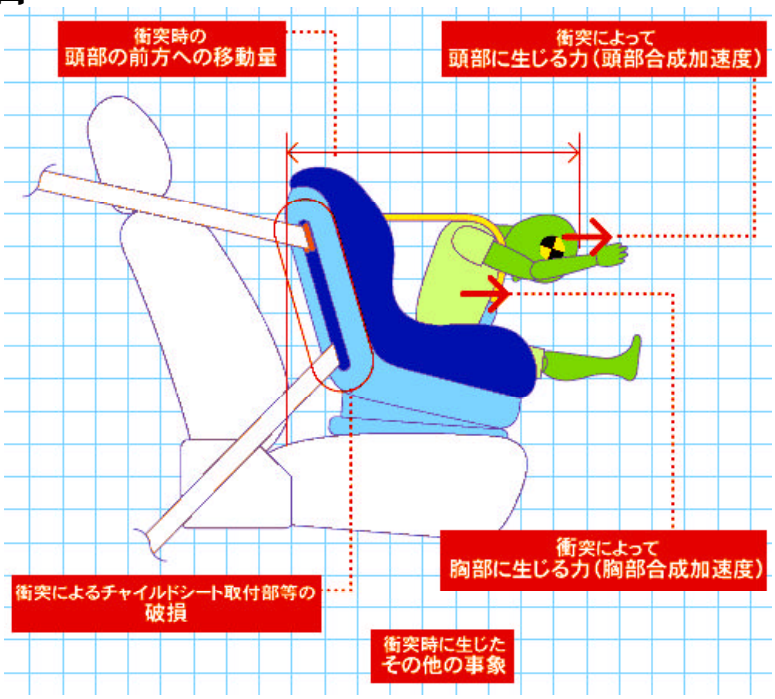
使用対象：１歳～４歳くらいまで、体重９～１８kg以下
試験対象製品：２１製品

評価の結果



（注）「推奨せず」とは、より高い安全性能を評価する本試験の結果からは推奨に至らないことを表しており、使用不可という意味ではありません。試験対象とした製品は、すべて安全基準に適合しており一定レベルの安全性は確保されています。

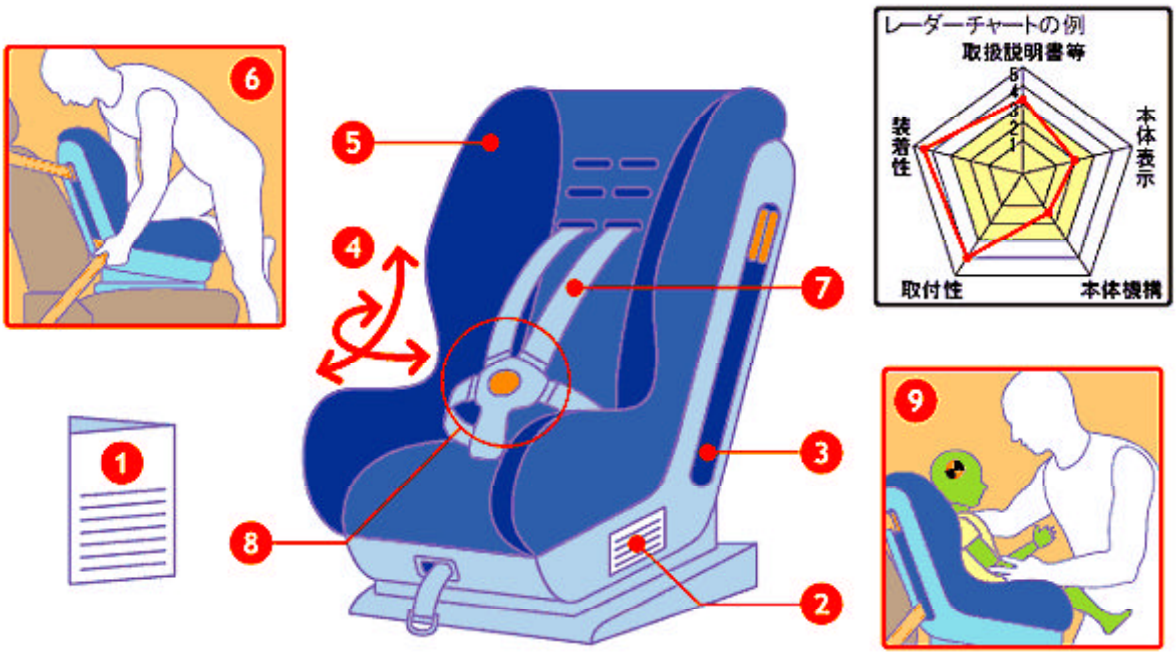
評価項目



使用性評価試験結果

評価項目	全製品の平均点（５点満点）
・取扱説明書等 座席等への取付方法、子供の乗せ方などについて分かりやすく説明されているかどうか（①）	３．１点
・本体表示 座席等への取付方法、子供の乗せ方などについて、本体に分かりやすく表示されているかどうか（②，③）	３．４点
・本体機構 リクライニング、回転機構等は確実にロックするか、レバースイッチの位置が分かりやすいかなど（④，⑤）	２．８点
・取付性 座席に取り付ける際、間違えにくいか、１人で容易に確実な締付けができるかなど（⑥）	３．２点
・装着性 ハーネスの長さ調節が容易か、子供の着座に要する時間が適切か、バックルは子供が解除しにくいかなど（⑦，⑧，⑨）	３．０点

評価方法



着衣型チャイルドシート(幼児用)の評価結果一覧

指定番号	通称名	メーカー等名	適合基準	前面衝突試験					使用性評価試験				
				取付部等の破損	頭部移動量	頭部に生じる力	胸部に生じる力	その他の事象	取扱説明書等	本体表示	本体機構	取付性	装着性
自C-28	カーライフジャケット・キッズ	㈱番	旧基準	○	○	◎	◎	※1	3.0	2.0	1.5	2.0	1.3
自C-59	カーライフジャケット・キッズⅡ	㈱番	旧基準	○	○	◎	◎	※2	2.8	2.2	1.0	2.5	1.8
自C-66	パワーベスト	全国防災事業協業組合	旧基準	○	○	◎	◎	※3	2.3	2.7	1.0	1.5	1.3
自C-70	ボディー・キャッチャー	ケイ・ブレインズ㈱	旧基準	◎	○	◎	◎	※4	3.0	2.5	1.0	1.0	1.3
自C-126	パワーベスト	全国防災事業協業組合	旧基準	◎	○	◎	◎	※3	2.8	3.0	1.0	2.0	1.3
自C-130	フジセイキシートベスト	不二精器㈱	旧基準	◎	○	◎	◎	※4	2.5	2.2	1.0	2.0	1.0
自C-133	ボディー・キャッチャー	ケイ・ブレインズ㈱	旧基準	◎	○	◎	◎	※5	3.0	2.2	1.0	2.0	1.3

(注記) ※1 骨盤拘束が弱く、腰・股ハーネスによる腹部および股間の圧迫が見られるものの、その程度は判別できない。
※2 骨盤拘束が弱く、腰・股ハーネスによる腹部および股間の圧迫が見られるものの、その程度は判別できない。
なお、ヒュ-ズベルトにより衝撃が緩和されている可能性がある。
※3 骨盤は拘束されているものの、腰ハーネスが腹部にかかっているがその程度は判別できない。
なお、試験法による腰ハーネスの装着位置は、取扱説明書に従った場合より高かったとの指摘がある。
※4 骨盤は拘束されているものの、腰ハーネスが腹部にかかっているがその程度は判別できない。
※5 胸ハーネスが頚部(首)にかかり頚部を圧迫している。

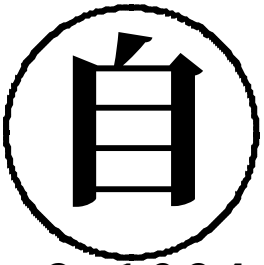
備考 着衣型チャイルドシート(7製品)については、試験時におけるダミーの拘束状態や挙動が複雑であり、ハーネスが腹部等にかかっているもののその程度を判別できないため、事前に定めた判定の方法では適切な評価を行えないことが分かりました。したがって全体の評価を行わないこととし、評価欄を設けていません。

新基準に適合したチャイルドシートの見分け方

平成１４年１月以降、新基準に適合して型式指定を受けたチャイルドシートには、図のように基準施行年月等が表示されます。

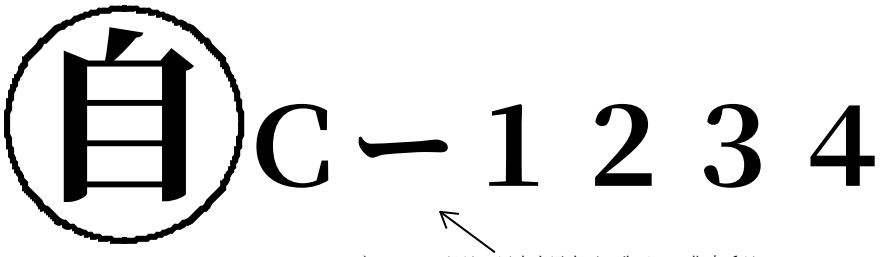
（図）これからの型式指定番号等

２０００／０１　←**基準施行年月**
ＵＮＩＶＥＲＳＡＬ　←**汎用型チャイルドシート**
９－３６ｋｇ　←対象とする年少者の体重範囲



Ｃ－１２３４　←チャイルドシートの記号/国土交通大臣が告示した指定番号

（参考）今までの型式指定番号等



注.「新基準」は２０００年施行の基準。２００２年末までに製作されたものは適用猶予。

参考資料

チャイルドシートアセスメントの結果の概要について

１．チャイルドシートアセスメントの実施方法

チャイルドシートアセスメントは、信頼できる安全性能評価を公表して安全なチャイルドシートを選択できるようにして欲しいとの要望を受け、本年度初めて実施しました。チャイルドシートアセスメントの公表によって、より安全な製品を選択しやすい環境を整えるとともに、製作者によるより安全な製品の開発を促すことによって、安全なチャイルドシートの普及を促進しようとするものです。

チャイルドシートアセスメントの試験及び評価の方法は、自動車等安全性能評価実施要領に基づいて行っています。なお、実施要領については、本年５月から６月にかけてパブリックコメントを実施し、広く一般の方々の意見を伺い、作成しました。

２．試験対象チャイルドシートの選定方法について

比較試験を行うチャイルドシートは、国が定める安全基準（道路運送車両の保安基準）及びそれと同等の基準（米国及び欧州の基準）に適合しているもので、平成１２年４月から平成１３年３月までの国内販売実績が多いものを基本として選定するとともに、チャイルドシート製作者等から申し出のあったものも対象としています。なお、今回の試験は、乳児用、幼児用を対象としており、学童用及びベッド型のチャイルドシートは対象としていません。

上記の原則に則り、今回の試験においては３２製品を選定しました。なお種類別では、乳児用４製品、乳児用・幼児用（兼用タイプ）１６製品、幼児用１２製品（うち着衣型７製品）です。

３．前面衝突試験の評価結果

（１）評価の概要

前面衝突試験は、チャイルドシートを取り付けた試験用車両に、自動車の時速55㎞での前面衝突時と同様の衝撃を発生させて行います。衝突速度は自動車アセスメントのフルラップ前面衝突試験と同じで、これは、より高い安全性能を評価する観点から、国の安全基準（道路運送車両の保安基準）における衝突速度の１割増で実施しています。乳児用は進行方向後ろ向き、幼児用は進行方向前向きにチャイルドシートを取り付けて試験を実施しています。

前面衝突試験の一例　（幼児用）

それぞれの個別項目についてダミー人形による計測等を行い、前面衝突試験の全体の評価として、「優」「良」「普通」「推奨せず」の４段階での評価を行います。

なお「推奨せず」とは、より高い安全性能を評価する本試験の結果からは推奨に至らないことを表しており、使用不可という意味ではありません。試験対象とした製品は、すべて安全基準に適合しており一定レベルの安全性は確保されています。

（２）前面衝突試験の全体の評価に関して

前面衝突試験の全体の評価を行った製品は、乳児用は２０製品、幼児用は２１製品（うち兼用タイプが１６製品）です。なお、幼児用チャイルドシートのうちいわゆる着衣型の７製品については、試験時におけるダミーの拘束状態や挙動が複雑であり、ハーネスが腹部等にかかっているもののその程度を判別できないため、事前に定めた判定の方法では適切な評価を行えないことが分かりました。したがって着衣型チャイルドシートの前面衝突試験については、全体の評価を行わないこととしました。今後、試験・評価方法を調査検討し、適切な評価を実施していきたいと考えています。

乳児用の２０製品の評価結果は、「優」が５製品、「良」が１製品、「普通」が８製品、「推奨せず」が６製品でした。「優」となった５製品のうち、４製品は新基準適合品でした。また、「推奨せず」となった６製品については、いずれもシートバックの傾きに関して「×」となっています。

前面衝突試験の評価（乳児用）

	旧	新	欧	米	計
優	1	4			5
良	1				1
普通	6	1	1		8
推奨せず	4			2	6
計	12	5	1	2	20

前面衝突試験の個別項目評価（乳児用）

評価項目	◎	○	×
取付部等の破損	6	14	0
シートバックの傾き	10	4	6
頭部のはみだし	15	5	0
胸部に生じる力	12	8	
その他の事象			0

評価が「優」または「良」となった製品一覧（乳児用チャイルドシート）

評価	通称名	メーカー名等	適合基準	指定(認定)番号
優	ピピＳＴ	リーマン㈱	旧基準	(自 C-162)
	ミリブ4000	タカタ㈱	新基準	自 C-100
	プリムベビー	コンビ㈱	新基準	自 C-146
	ピピデビュー	リーマン㈱	新基準	自 C-155
	ピピデビューフィットシェル	リーマン㈱	新基準	自 C-156
良	ネオシスファーストS	コンビ㈱	旧基準	自 C-29

幼児用の２１製品の評価結果は、「優」に該当するものは無く、「良」が８製品、「普通」が５製品、「推奨せず」が８製品でした。新基準適合品と欧州基準適合品の評価はいずれも「良」または「普通」となっています。個別項目別に見ると、頭部前方移動量について結果が悪く「◎」となった製品がありませんでした。また、取付部等の破損で「×」となった製品が４製品ありました。

なお、幼児用の製品のうち、骨盤拘束が弱く、腹部等の圧迫が見られるがそれをパッド、ハーネス、シールド等の広い面積で受けている場合等にはコメントを付すこととしています。幼児用のうち、コメントを付した製品は１５製品となっています。

前面衝突試験の評価結果（幼児用）

	旧	新	欧	米	計
優					0
良	1	5	2		8
普通	4	1			5
推奨せず	8				8
計	13	6	2	0	21

前面衝突試験結果（幼児用）

評価項目	◎	○	×
取付部等破損	12	12	4
頭部前方移動量　※１	0	22	5
頭部に生じる力	26	2	
胸部に生じる力	28	0	
その他の事象　※２			0

※１･･･１製品について破損の為計測が不能
※２･･･15 製品についてコメントを付した

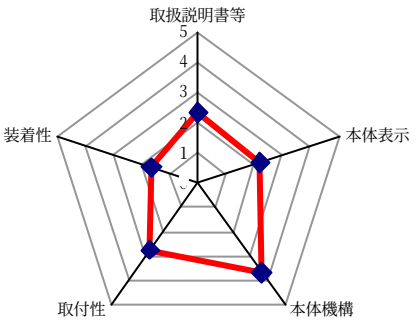
評価が「良」となった製品一覧（幼児用チャイルドシート）

評価	通称名	メーカー名等	適合基準	指定(認定)番号
良	ミリブ3000	タカタ㈱	旧基準	自 C-52
	ミリブ4000	タカタ㈱	新基準	自 C-100
	ＰＡＯＰＡＯﾁｬｲﾙﾄﾞﾌｫｰﾋﾞｰ	㈱東海理化電機製作所	新基準	自 C-104
	ネオシスファースト２．５Ｓ	コンビ㈱	新基準	自 C-142
	ピピデビュー	リーマン㈱	新基準	自 C-155
	ピピデビューフィットシェル	リーマン㈱	新基準	自 C-156
	ﾋﾟｼﾞｮﾝｺﾝｺﾙﾄﾞﾌｨｯｸｽﾏｯｸｽ	ピジョン㈱	欧州基準	
	レーマー・キング	㈱ウエスタンコーポレーション	欧州基準	

４．使用性評価試験の評価

使用性評価試験では、ユーザーによる自動車の座席への確実な取り付けがしやすいように配慮されているかなど、チャイルドシートの誤った使用を防止する観点から、使用実態を反映した５つの評価項目（取扱説明書等、本体表示、本体機構、取付性、装着性）について、５名の専門家により５点満点での判定を行い、レーダーチャートで表しています。

レーダーチャートの例



評価について、評価項目ごとに全製品の平均を求めたところ、取扱説明書等は 3.1 点、本体表示は 3.4 点、本体機構は 2.8 点、取付性は 3.2 点、装着性は 3.0 点となりました。評価は、全体として 1.0 から 5.0 点まで幅広く分布していますが、項目別に見ると「本体表示」や「取付性」については比較的高い評価のものが多く、これらの製品はシートベルトの取り回しや固定のしやすさについて製品ごとに設計上の工夫がされていました。また「本体機構」や「装着性」については比較的低い評価のものが多くなっており、これらは付属品の収納部がないものや、可動機構を持つ構造のものの一部などです。

使用性評価試験結果一覧

評価項目	得　点　範　囲				平均点
	1.0-1.9	2.0-2.9	3.0-3.9	4.0-5.0	
取扱説明書等	1	20	20	7	3.1
本体表示	1	10	25	12	3.4
本体機構	14	8	16	10	2.8
取付性	2	16	17	13	3.2
装着性	9	10	20	9	3.0

（別添１）

安全性能評価試験の評価方法について

（１）前面衝突試験の評価方法

○評価区分

優	◎が４つの場合。×が１つでもある場合は除く。
良	◎が３つ、○が１つの場合。×が１つでもある場合は除く。
普　通	「優」、「良」及び「推奨せず」に該当しない場合。
推奨せず	評価項目の中で１つでも×があった場合。 より高い安全性能を評価する本試験の結果からは、推奨するに至らないことを表しており、使用不可という意味ではありません。試験対象とした製品は、すべて安全基準に適合しており一定レベルの安全性は確保されています。

○項目別評価方法

	評価項目	個別評価方法	評価
乳児用	衝突によるチャイルドシート取付部等の破損	破損なし	◎
		軽微な破損あり（亀裂等）	○
		本来の構造をとどめず	×
	衝突時のチャイルドシートのシートバックの傾き	６０°≧シートバックの傾き	◎
		６０°＜シートバックの傾き≦７０°	○
		７０°＜シートバックの傾き	×
	衝突時のチャイルドシート上端面からの頭部のはみだし	頭部のはみ出しがない	◎
		頭部のはみ出しが 73mm 以内	○
		頭部のはみ出しが 73mm を超える	×
	衝突によって胸部に生じる力（胸部合成加速度）	55G(539m/s²)≧胸部合成加速度	◎
		55G(539m/s²)＜胸部合成加速度	○
	衝突時にバックルが解離した。		×
	衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した。		×

	評価項目	個別評価方法	評価
幼児用	衝突によるチャイルドシート取付部等の破損	破損なし	◎
		軽微な破損あり（亀裂等）	○
		本来の構造をとどめず	×
	衝突時の頭部の前方への移動量	550mm≧頭部移動量	◎
		550mm＜頭部移動量≦700mm	○
		700mm＜頭部移動量	×
	衝突によって頭部に生じる力（頭部合成加速度）	80G(785 m/s²)≧頭部合成加速度	◎
		80G(785 m/s²)＜頭部合成加速度	○
	衝突によって胸部に生じる力（胸部合成加速度）	60G(588 m/s²)≧胸部合成加速度	◎
		60G(588 m/s²)＜胸部合成加速度	○
	衝突時にバックルが解離した。		×
	衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した。		×
	衝突時において、ハーネスが腹部等身体の弱い部分を圧迫する等幼児に傷害を与えるおそれがある。		×

（２）使用性評価試験の評価方法

評価は、チェック項目ごとに標準的なレベルを３点として１点～５点までの点数をつけ、評価項目ごとの平均点を表示する。

評価項目	対象	チェック項目
取扱 説明書等	取扱説明書	内容全体が理解しやすいか。
		図版が見やすいか、正確か。
		注意、警告の表記がされているか。
		子供の体格別の使用方法が明記されているか。
		取付後の確認方法が明記されているか。
	梱包箱	梱包箱の表示が明記されているか。
本体表示	表示内容	取付方法が明記されているか。
		注意、警告の表記がされているか。
		使われている言葉は明解か。
		製品の問い合わせ先が記載されているか。
		基準適合が明記されているか。
	ベルトガイド	ベルト通し位置が分かりやすく表示されているか。
本体機構	可動機構の安全性	リクライニング等の可動機構の操作において、確実にロックでき、ぐらつかないか等安全性を確保できるか。
	シートカバーの安全性	取り付けが確実に行え安全性を確保できるか。
	付属品等の収納の確実性	付属品、取扱説明書の収納が確実にでき脱落、紛失のおそれがないか。
取付性	ベルト	ベルトは通しやすいか、ねじれが発生しないか。
	固定の確実性	一人で容易にベルトを締め付けられるか。
		ベルトは容易に確実な固定ができるか。
		取付後ぐらつきが発生しないか。
装着性	ハーネス	ハーネスの高さ調整が容易か。
		ハーネスの長さ調整が容易か
	バックル	バックルは簡単な操作でロックできるか。
		バックルは子供が解除しにくいか。
	着座状態	着座させるまでの手順が複雑でないか。

別添 2)

前面衝突試験データ一覧

	通称名	メーカー等名	適合基準	指定認定)番号	乳児用					幼児用				
					取付部等の破損	シートバックの傾き	頭部のはみ出し	胸部に生じる力	その他の事象	取付部等の破損	頭部移動量	頭部に生じる力	胸部に生じる力	その他の事象
						角度(°)	(mm)	加速度(G)			移動量(mm)	加速度(G)	加速度(G)	
乳児用	プリムベビー	コンビ㈱	新基準	自C-146	◎	◎	◎	◎	なし					
						33	なし	51.85						
	スーパーキャリー	㈱日本育児	米国基準		○	×	◎	◎	なし					
						79	なし	40.18						
	ディスカバリーベビーシート	トライスターインターナショナル㈱	米国基準		○	×	◎	◎	なし					
						71	なし	43.20						
	レーマー・ベビーセーフ	㈱ウエスタンコーポレーション	欧州基準		○	◎	◎	○	なし					
						23	なし	55.62						
乳児用・幼児用(兼用タイプ)	ピピST	リーマン㈱	旧基準	(自C-162)	◎	◎	◎	◎	なし	×	○	◎	◎	※
						54	なし	51.50		バックルの損傷	635	50.50	37.04	
	チャイルドシート・レオ	㈱シーエー産商	旧基準	(自C-166)	○	×	◎	◎	なし	×	○	○	◎	※
						87	なし	51.97		ﾊﾞｯﾄ取付部破損	596	82.60	47.52	
	ネディアルファ	リーマン㈱	旧基準	(自C-171)	○	◎	○	◎	なし	○	×	◎	◎	※
						59	5	43.68			714	54.11	40.50	
	マシュマロニューボーン	アップリカ葛西㈱	旧基準	(自C-182)	○	×	◎	○	なし	×	×	◎	◎	※
						86	なし	62.57		車両ベルト切断	1001	66.69	32.77	
	プリムターンファーストS	コンビ㈱	旧基準	(自C-196)	○	○	○	○	なし	○	×	◎	◎	※
						66	70	66.37			830	73.09	34.71	
	チャイルド2ウェイカーシートEX	㈱トミー	旧基準	自C-2	◎	○	◎	○	なし	○	○	○	◎	なし
						66	なし	56.33			698	92.96	43.17	
	エールベベ・シェルターン	㈱カーメイト	旧基準	自C-22	○	○	○	○	なし	×	計測不可	◎	◎	※
						70	42	69.28		シェル放出	シェル放出	65.90	46.22	
	ネオシスファーストS	コンビ㈱	旧基準	自C-29	○	◎	◎	◎	なし	○	○	◎	◎	※
						42	なし	52.38			663	75.93	37.56	
	ミリブ3000	タカタ㈱	旧基準	自C-52	○	○	◎	◎	なし	◎	○	◎	◎	なし
						61	なし	50.24			658	69.13	41.75	
	プリマベーラSTD	ヴィブレ㈱	旧基準	自C-65	○	×	○	◎	なし	○	○	◎	◎	※
						72	22	48.95			668	60.28	35.51	
	チャイルドシート	アイリスオーヤマ㈱	旧基準	自C-74	○	×	○	○	なし	○	×	◎	◎	※
						78	20	60.40			861	68.63	34.24	
	マシュマロネオフィックス	アップリカ葛西㈱	旧基準	自C-139	○	◎	◎	○	なし	○	○	◎	◎	※
						52	なし	58.31			698	66.53	53.31	
	ミリブ4000	タカタ㈱	新基準	自C-100	◎	◎	◎	◎	なし	◎	○	◎	◎	なし
						56	なし	50.68			615	70.82	50.84	
	ネオシスファースト2 5S	コンビ㈱	新基準	自C-142	○	◎	◎	○	なし	◎	○	◎	◎	※
						47	なし	55.31			657	77.60	40.64	
	ピピデビュー	リーマン㈱	新基準	自C-155	◎	◎	◎	◎	なし	◎	○	◎	◎	※
						49	なし	45.08			619	76.36	42.87	
	ピピデビューフィットシェル	リーマン㈱	新基準	自C-156	◎	◎	◎	◎	なし	◎	○	◎	◎	※
						49	なし	47.26			620	78.69	46.83	

別添 2)

前 面 衝 突 試 験 デ ー タ 一 覧

通称名		メーカー等名	適合基準	指定(認定)番号	乳児用					幼児用				
					取付部等の破損	シートバックの傾き	頭部のはみ出し	胸部に生じる力	その他の事象	取付部等の破損	頭部移動量	頭部に生じる力	胸部に生じる力	その他の事象
						角度(°)	(mm)	加速度(G)			移動量(mm)	加速度(G)	加速度(G)	
幼児用	マシュマロロングロング	アップリカ葛西㈱	旧基準	自C-99						○	×	◎	◎	※
											702	56.28	33.28	
	PAOPAOチャイルドフォービー	㈱東海理化電機製作所	新基準	自C-104						◎	○	◎	◎	なし
											638	66.90	45.96	
	エールベベ・プレシールド	㈱カーメイト	新基準	自C-150						○	○	◎	◎	※
											576	62.78	41.75	
	ピジョンコンコルドフィックスマックス	ピジョン㈱	欧州基準							◎	○	◎	◎	なし
											566	67.22	45.32	
	レーマー・キング	㈱ウエスタンコーポレーション	欧州基準							◎	○	◎	◎	なし
											675	71.91	41.70	
着衣型チャイルドシート(幼児用)	カーライフジャケット・キッズ	㈱番	旧基準	自C-28						○	○	◎	◎	※
											597	62.20	39.34	
	カーライフジャケット・キッズII	㈱番	旧基準	自C-59						○	○	◎	◎	※
											620	60.00	37.70	
	パワーベスト	全国防災事業協業組合	旧基準	自C-66						○	○	◎	◎	※
											635	62.02	44.44	
	ボディー・キャッチャー	ケイ・ブレインズ㈱	旧基準	自C-70						◎	○	◎	◎	※
											623	71.15	45.39	
	パワーベスト	全国防災事業協業組合	旧基準	自C-126						◎	○	◎	◎	※
											619	62.07	42.34	
	フジセイキシートベスト	不二精器㈱	旧基準	自C-130						◎	○	◎	◎	※
											629	73.14	44.53	
	ボディー・キャッチャー	ケイ・ブレインズ㈱	旧基準	自C-133						◎	○	◎	◎	※
											589	72.86	59.06	

(注記) 「頭部のはみ出し」の「なし」は、シートバック上端面からダミーの頭部がはみ出さなかった事を示す。
シートバック上端面からダミー頭部がはみ出した場合は、そのはみ出しの量(単位mm)を示す。

「その他の事象」の ※ は、コメントを付したことを示す。